

## 令和4年度 第1回滋賀県環境学習等推進協議会 議事概要

日時：令和4年8月29日（月）13:30～15:00

場所：県庁本館4-A会議室（オンライン開催）

出席：参加委員15名

事務局 環境政策課、琵琶湖博物館環境学習センター、教委幼小中教育課

### ■議事（1）「第四次滋賀県環境学習推進計画」の実施状況（令和3年度）について

資料1および資料2に基づき説明：事務局（環境政策課）

委員

○資料2の事業評価の記載内容について、各課が評価している指標や評価の仕方を統一させるのは難しいと思うが、書きぶりにばらつきが見られるため、担当に十分な説明を行い資料2が充実するように進めていただきたい。

委員

○令和3年度は、コロナのことを踏まえた計画もされていたのではないかと推測するが、令和2年度よりも事業数が減少した結果となってしまった。令和4年度以降もコロナで事業が中止になると、環境学習自体の取組を拡大していくことが難しくなるかと思うので、コロナを踏まえて工夫した事業があるのであれば、事業数の増減のみを評価するのではなく、どのようにコロナの中で環境学習の取組を工夫したかという点についても評価として取り上げて良いのではないか。

委員

○滋賀県の環境学習の目指すところを各課の担当業務にできる限り反映していただけるよう、計画概要等を事業実施前に知ってもらい、全体評価のなかで担当業務の位置づけを確認して、それぞれの担当課が自身の事業をブラッシュアップするための資料として使うことが出来ればより良い。

委員

○どうしても今は数字的な指標になってしまっているので、質的な部分についても加味して各課の判断で評価できるように工夫しても良い。

### ■議事（2）琵琶湖博物館 環境学習センターの事業について

資料3に基づき説明：事務局（環境学習センター）

## 委員

○交流会の際に、団体同士がもっと交流出来るように工夫していただきたい。

→事務局（環境学習センター）

○昨年度は初めての試みとして、淡海こどもエコクラブ活動交流会の後に、団体同士の交流の場を設けたが、子ども連れの団体には参加が難しく、結果として参加がなかった。今年度については交流会後に時間を設けることは難しいと判断し、代わりに、博物館内を案内するという形で子ども同士の相互交流を図れればと考えている。また、交流の場は別日に設ける形で考えていきたい。

## ■議事（3）その他（ギアモデルの「学ぶ」に関する整理結果について）

資料4および参考資料1に基づき説明：事務局（環境政策課）

特に意見なし